

# 市内事業所景況等調査結果

[令和5年4月～6月期]

令和5年12月

江南市 経済環境部商工観光課

## 目 次

第1章 実施概要	1
第2章 調査結果	2
1. 調査票による調査	2
2. ヒアリングによる調査	18
卷末資料	
調査票の集計結果	21

※本調査は端数調整により合計が100%にならないことがあります。

# 第1章 実施概要

## 1. 目的

江南市内の現在の景況の確認と商工行政に対する要望を調査することで、今後の商工業振興施策の基礎資料とするため、平成11年度から毎年、実施しています。

## 2. 調査対象

総務省統計局の提供する事業所母集団データベースから抽出した市内事業所3,331件のうち、無作為に抽出した1,000件を調査対象としました。

なお、業種については、愛知県が実施している中小企業景況調査と比較するため、製造業、卸・小売業、建設業、サービス業の4業種としました。

## 3. 調査内容

令和5年4月～6月期について、総合的な業況判断、売上、採算、設備投資、資金繰り、雇用人員、金融機関の貸出態度、経営上の問題点、来期の見通しについて調査しました。

その他、「市の中小企業振興支援策について」、「物価等の高騰に伴う価格転嫁の状況及び江南市企業紹介冊子について」、「中小企業再投資促進奨励金について」も併せて調査しました。

また、事業所の生の声をお聞きすることで、業種ごとの実態や必要とされる支援策等をより正確に把握するため、回答のあった企業から10社を抽出し、ヒアリング調査を行いました。

## 4. 調査の実施時期

調査票による調査…令和5年6月23日（金）～7月14日（金）

ヒアリング調査……令和5年10月24日（火）～11月13日（月）

## 5. 回答状況

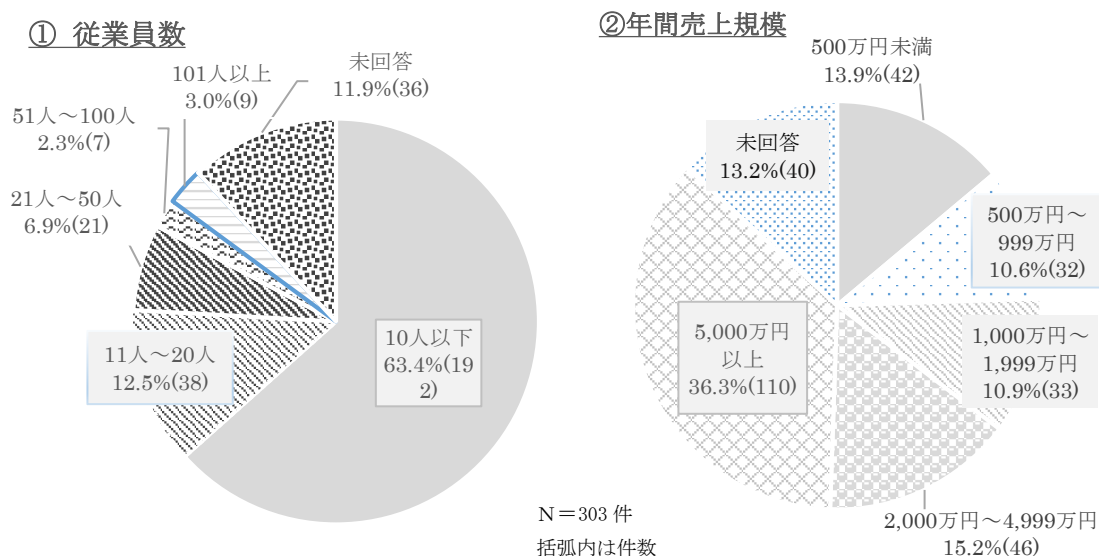
1,000事業所に調査票を発送し、303事業所から回答が得られました。  
(回答率30.3%)

業種	発送数	業種比率	回答件数	回答率
製造業	150件	15.0%	60件	40.0%
卸・小売業	256件	25.6%	76件	29.7%
建設業	117件	11.7%	44件	37.6%
サービス業	477件	47.7%	123件	25.8%
合計	1,000件	100.0%	303件	30.3%

## 第2章 調査結果

### 1. 調査票による調査

#### (1) 回答事業所について



#### (2) 当期（令和5年4月～6月期）の経営実績について

##### ① 業況判断D. I.

「業況判断D. I. <sup>(注)</sup>」は、前年同期（令和4年4月～6月。以下、(2)において同じ。）と比べて、総合的な業況が「好転」、「やや好転」したとする事業所の割合から、「悪化」、「やや悪化」したとする事業所の割合を差し引いた値です。

全業種の業況判断D. I. は△15.5となり、昨年の△24.1から8.6ポイント改善し、好転の傾向が見られます。

業種別では、前年の実績を上回ったのは卸・小売業、建設業及びサービス業で、下回ったのは製造業でした。

##### 業況判断D. I. の動向

業種	江南市				愛知県	
	R2	R3	R4	R5(当期)	(R4)	R5
全業種	△76.9	△40.4	△24.1	↗ △15.5	(△29.1)	↗ △21.5
製造業	△86.4	△30.0	△18.9	↘ △25.0	(△30.8)	↗ △19.4
卸・小売業	△83.4	△48.6	△46.5	↗ △25.1	(△27.1)	↘ △28.8
建設業	△60.0	△28.9	△32.4	↗ △13.6	(△34.8)	↗ △22.7
サービス業	△74.2	△47.3	△11.8	↗ △5.7	(△17.9)	↘ △18.2

(注) D. I. ディフュージョンインデックス（業況判断指数）の略。業況が「良い」と答えた事業所の割合から、「悪い」と答えた事業所の割合を差し引いた値。

## ② 売上D. I.

「売上D. I.」は、前年同期と比べて、売上高・施工高が「増加」、「やや増加」したとする事業所の割合から、「減少」、「やや減少」したとする事業所の割合を差し引いた値です。

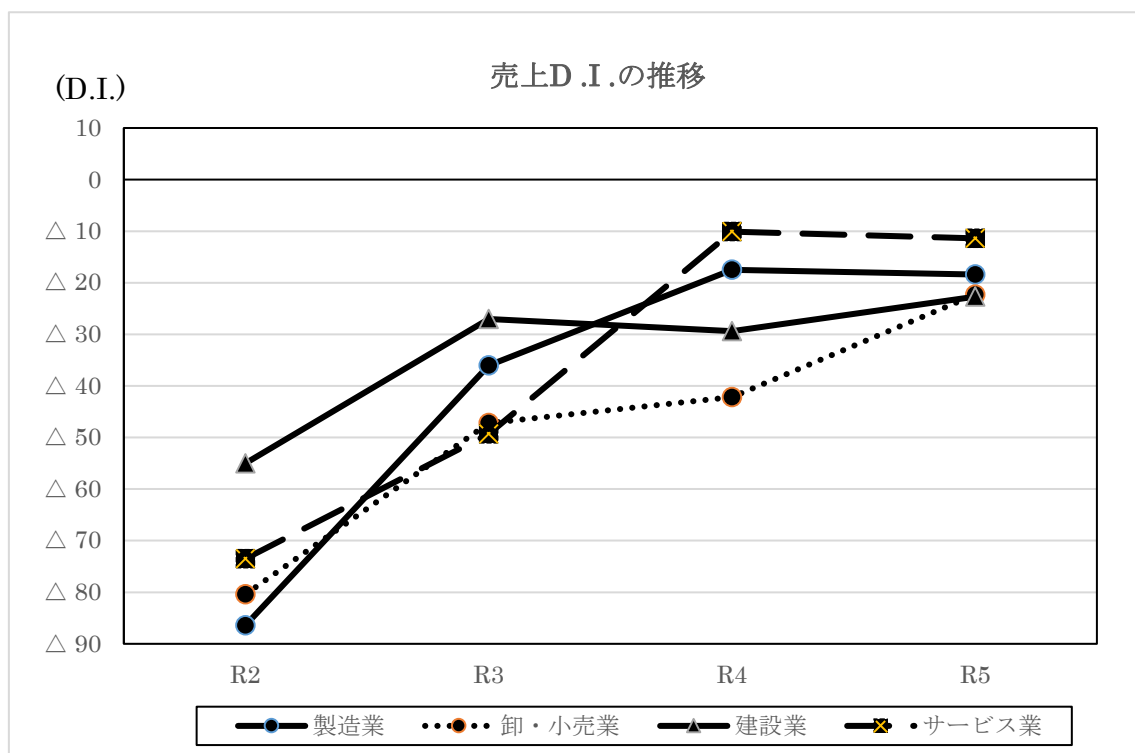
全業種の売上D. I. は△17.1となり、昨年の△21.9から4.8ポイント改善し、若干好転の傾向が見られます。

業種別では、前年の実績を上回ったのは卸・小売業及び建設業で、下回ったのは製造業及びサービス業でした。

また、愛知県の結果と比較すると、江南市は卸・小売業が好転し、製造業が悪化している点で相違が見られます。

### 売上D. I. の動向

業種	江南市				愛知県	
	R2	R3	R4	R5 (当期)	(R4)	R5
全業種	△75.3	△42.2	△21.9	↗ △17.1	(△22.8)	↗ △13.8
製造業	△86.4	△36.0	△17.5	↘ △18.4	(△23.2)	↗ △9.7
卸・小売業	△80.4	△47.2	△42.2	↗ △22.3	(△20.4)	→ △20.4
建設業	△55.0	△27.0	△29.4	↗ △22.7	(△33.3)	↗ △13.6
サービス業	△73.5	△49.3	△10.1	↘ △11.4	(△19.6)	↘ △25.6



### ③ 採算D. I.

「採算D. I.」は、当期採算が「黒字」とする事業所割合から、「赤字」とする事業所割合を差し引いた値です。

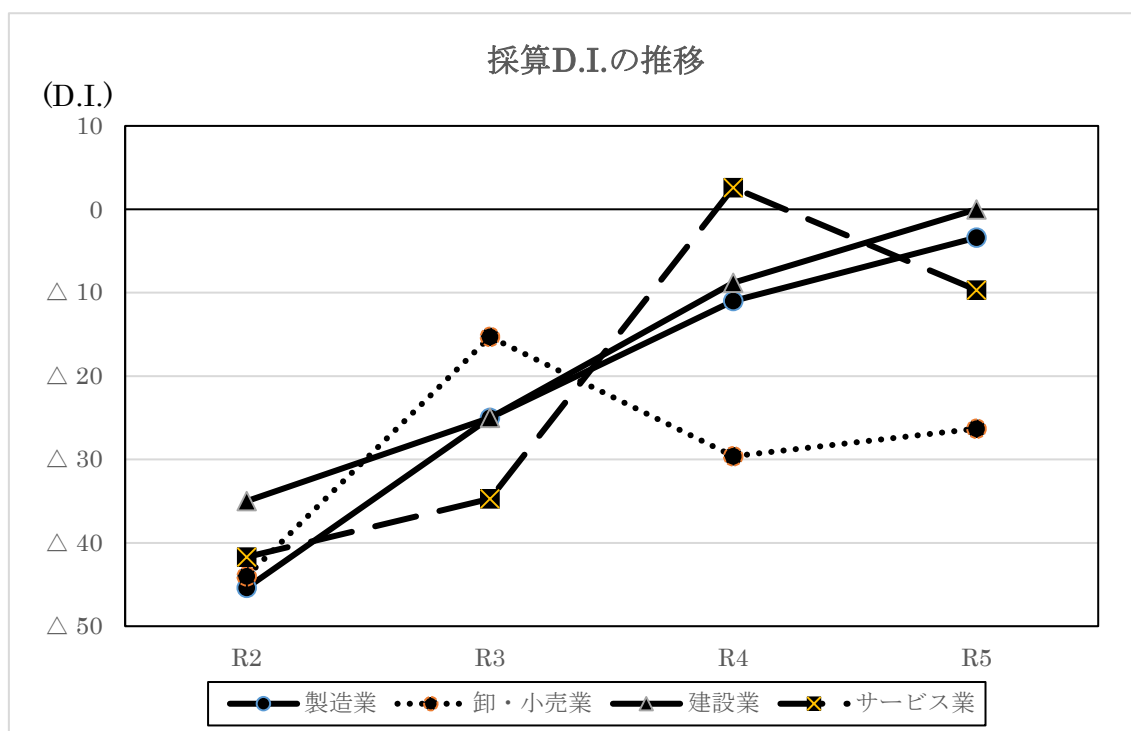
全業種の採算D. I. は $\Delta 10.9$ となり、昨年の $\Delta 9.9$ から $1.0$ ポイント悪化したものの、ほぼ横這いの傾向が見られます。

業種別では、前年の実績を上回ったのは製造業、卸・小売業及び建設業で、下回ったのはサービス業でした。

また、愛知県の結果と比較すると、江南市はすべての業種において同様の傾向が見られます。

#### 採算D. I. の動向

業種	江南市				愛知県	
	R2	R3	R4	R5(当期)	(R4)	R5
全業種	$\Delta 42.1$	$\Delta 27.0$	$\Delta 9.9$	$\Downarrow$ $\Delta 10.9$	$(\Delta 11.9)$	$\Uparrow$ $\Delta 7.2$
製造業	$\Delta 45.4$	$\Delta 25.0$	$\Delta 11.6$	$\Uparrow$ $\Delta 3.4$	$(\Delta 12.3)$	$\Uparrow$ $\Delta 8.5$
卸・小売業	$\Delta 44.0$	$\Delta 15.3$	$\Delta 29.6$	$\Uparrow$ $\Delta 26.3$	$(\Delta 21.5)$	$\Uparrow$ $\Delta 16.5$
建設業	$\Delta 35.0$	$\Delta 25.0$	$\Delta 8.8$	$\Uparrow$ $0.0$	$(\Delta 8.7)$	$\Uparrow$ $18.2$
サービス業	$\Delta 41.7$	$\Delta 34.7$	$2.6$	$\Downarrow$ $\Delta 8.9$	$(13.2)$	$\Downarrow$ $7.4$



#### ④ 設備投資実施率

「設備投資実施率」は、当期において設備投資を「行った」とする事業所の割合です。

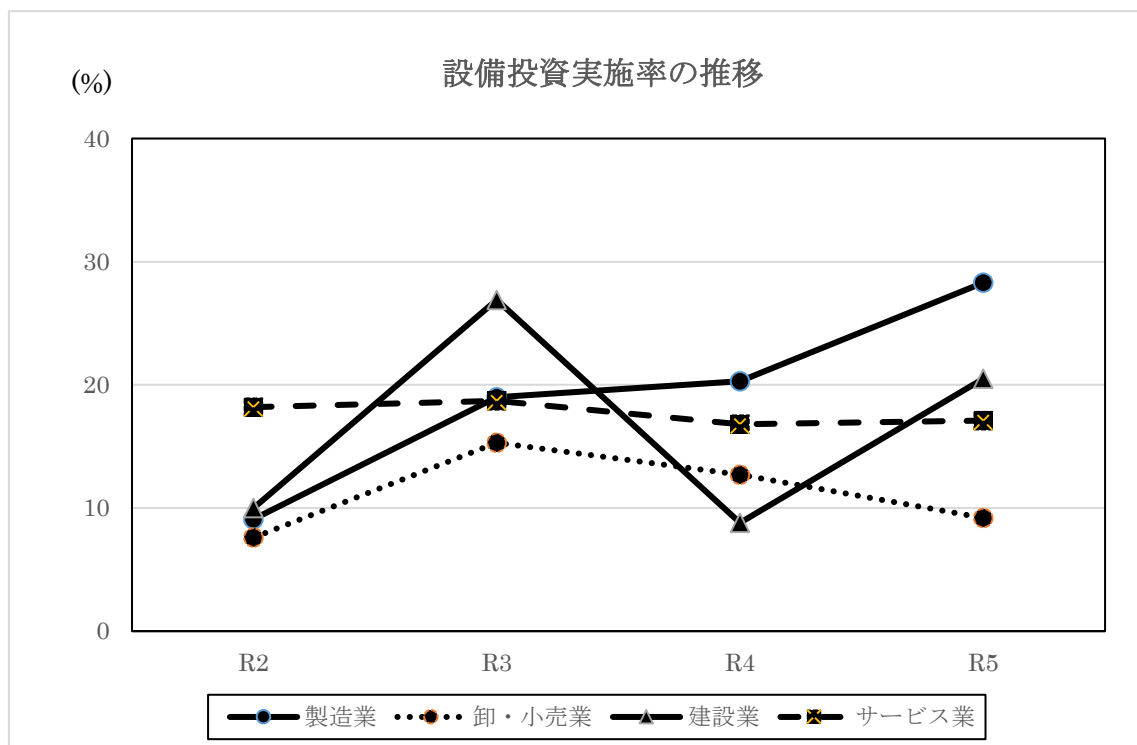
全業種の設備投資実施率は17.5%となり、昨年の15.7%を1.8ポイント上回りました。

業種別では、前年の実績を上回ったのは製造業、建設業で、下回ったのは卸・小売業、サービス業でした。

また、愛知県の結果と比較すると、江南市は製造業が好転し、卸・小売業、サービス業が悪化している点で相違が見られます。

#### 設備投資実施率の動向

業種	江南市				愛知県	
	R2	R3	R4	R5(当期)	(R4)	R5
全業種	12.8	19.3	15.7	↗ 17.5	(26.4)	↗ 28.6
製造業	9.1	19.0	20.3	↗ 28.3	(30.9)	→ 30.9
卸・小売業	7.6	15.3	12.7	↘ 9.2	(17.8)	↗ 20.1
建設業	10.0	26.9	8.8	↗ 20.5	(22.4)	↗ 34.8
サービス業	18.2	18.7	16.8	↘ 16.3	(18.9)	↗ 29.2



### ⑤ 資金繰りD. I.

「資金繰りD. I.」は、前年同期と比べて、資金繰りが「好転」、「やや好転」したとする事業所の割合から、「悪化」、「やや悪化」したとする事業所の割合を差し引いた値です。

全業種の資金繰りD. I. は△19.8となり、昨年の△23.9から4.1ポイント改善しました。

業種別では、前年の実績を上回ったのは製造業、卸・小売業及びサービス業、下回ったのは建設業でした。

また、愛知県の結果と比較すると、江南市は卸・小売業が好転し、建設業が悪化している点で相違が見られます。

#### 資金繰りD. I. の動向

業種	江南市				愛知県	
	R2	R3	R4	R5 (当期)	(R4)	R5
全業種	△54.6	△28.4	△23.9	↗ △19.8	(△20.4)	↗ △17.7
製造業	△68.2	△22.0	△21.7	↗ △16.6	(△19.4)	↗ △15.9
卸・小売業	△50.0	△26.4	△35.3	↗ △23.6	(△25.2)	↘ △29.0
建設業	△32.5	△15.4	△17.7	↘ △18.2	(△18.8)	↗ △6.1
サービス業	△56.8	△38.0	△20.1	↗ △19.5	(△16.8)	↗ △11.6

### ⑥ 雇用人員D. I.

「雇用人員D. I.」は、当期の雇用人員が「過剰」、「やや過剰」とする事業所割合から、「不足」、「やや不足」とする事業所割合を差し引いた値です。

全業種の雇用人員D. I. は△24.0となり、昨年と比較して、人手不足の傾向が強くなっています。

業種別では、前年より人手不足感に解消の傾向が見られたのがサービス業、人手不足感が高まったのが製造業、卸・小売業及び建設業でした。

また、愛知県の結果と比較すると、江南市はサービス業で人手不足感に解消の傾向が見られ、建設業で人手不足感が高まっている点で相違が見られます。

#### 雇用人員D. I. の動向

業種	江南市				愛知県	
	R2	R3	R4	R5 (当期)	(R4)	R5
全業種	1.1	△16.9	△21.2	↘ △24.0	(△16.2)	↘ △21.4
製造業	24.2	△14.0	△17.4	↘ △25.0	(△11.9)	↘ △18.1
卸・小売業	△3.1	△15.2	△18.3	↘ △18.4	(△11.6)	↘ △17.1
建設業	△30.0	△42.3	△23.5	↘ △45.4	(△63.8)	↗ △53.0
サービス業	0.8	△10.6	△24.4	↗ △19.5	(△27.1)	↘ △34.2



### (3) 現在の経営状況について

#### ① 金融機関の貸出態度D. I. と融資状況

「金融機関の貸出態度D. I.」は、当期における金融機関の貸出態度が「緩い」とする事業所の割合から、「厳しい」とする事業所の割合を差し引いた値です。

全業種の金融機関の貸出態度D. I. は0.9となり、前年の3.5から2.6ポイント下回りました。

業種別では、前年の実績と変わらないのは建設業、下回ったのは製造業、卸・小売業及びサービス業でした。ほぼ全業種について、貸出態度の緩和が落ち着き、印象として厳しくなっていることがうかがえます。

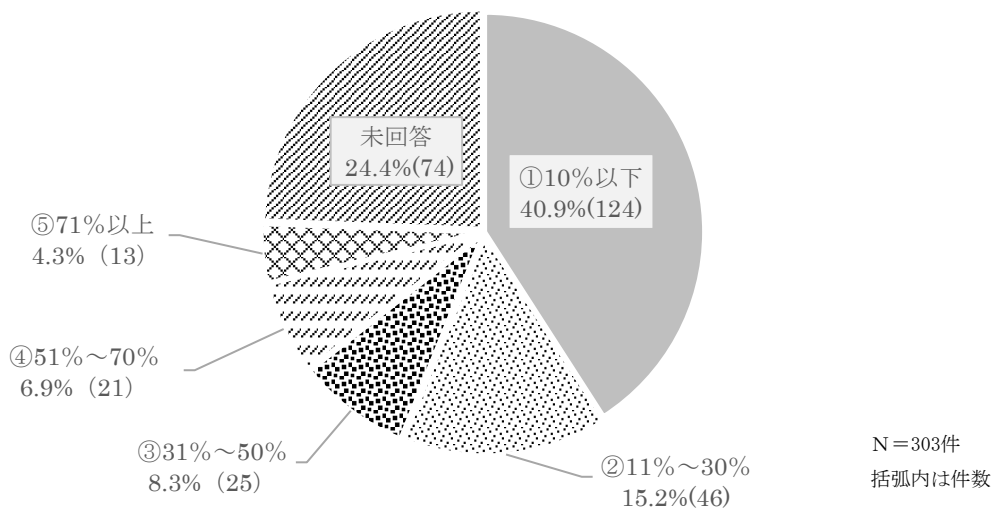
また、愛知県の結果と比較すると、江南市は建設業で貸出態度に変わらないが、サービス業は悪化している点で相違が見られます。

併せて、融資状況（売上高に対する借入額の比率）についてお聞きしたところ、融資を受けていると回答した中では「10%以下」という回答が40.9%と最も多くなりました。

#### 金融機関の貸出態度D. I. の動向

業種	江南市				愛知県	
	R2	R3	R4	R5 (当期)	(R4)	R5
全業種	12.5	4.3	3.5	↘ 0.9	(7.6)	↘ 2.5
製造業	22.8	11.0	4.4	↘ 0.0	(8.8)	↘ 3.6
卸・小売業	13.7	4.2	9.9	↘ 6.6	(3.1)	↘ Δ2.4
建設業	15.0	11.5	0.0	→ 0.0	(14.5)	↘ 4.6
サービス業	6.0	Δ2.7	0.0	↘ Δ1.6	(5.1)	↗ 5.5

融資状況



## ② 経営上の問題点

現在認識している経営上の問題点を、下記の選択肢から選ぶ形式で調査しました。

製造業、卸・小売業及び建設業で「原材料（資材）（仕入）価格の上昇」、サービス業で「売上（受注）の不振」が1位となりました。それ以外に、「売上（受注）の不振」、「人手不足」、「人件費の増加」といった回答が上位となりました。

業種別の特徴として、製造業では「エネルギー費用の増加」、卸・小売業では「店舗の狭小・老朽化」、建設業では「資金繰り難」、サービス業では「外注コスト増」が上位となっています。

選択肢			
<b>【製造業】</b> ・売上（受注）の不振 ・原材料価格の上昇 ・金融費用の増加 ・資金繰り難 ・人手不足 ・人件費の増加 ・製品安・値下げ要求 ・エネルギー費用の増加 ・その他	<b>【卸・小売業】</b> ・売上不振 ・仕入価格の上昇 ・金融費用の増加 ・資金繰り難 ・人手不足 ・人件費の増加 ・大型店・新業態の小売店出店 ・店舗の狭小・老朽化 ・その他	<b>【建設業】</b> ・売上（受注）の不振 ・資材価格の上昇 ・金融費用の増加 ・資金繰り難 ・人手不足 ・人件費の増加 ・受注単価引下げ要請 ・その他	<b>【サービス業】</b> ・売上（受注）の不振 ・外注コスト増 ・金融費用の増加 ・資金繰り難 ・人手不足 ・人件費の増加 ・受注単価引下げ要請 ・新規参入増 ・その他

業種	順位	R 4		R 5 (当期)	
		問題点	割合	問題点	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	62.3%	原材料価格の上昇	56.7%
	2位	売上（受注）の不振	42.0%	売上（受注）の不振	40.0%
	3位	人手不足		人手不足	25.0%
	4位	エネルギー費用の増加	18.8%	エネルギー費用の増加	23.3%
	5位	人件費の増加	10.1%	人件費の増加	11.7%
卸・小売業	1位	売上不振	50.7%	仕入価格の上昇	55.3%
	2位	仕入価格の上昇	49.3%	売上不振	46.1%
	3位	人件費の増加	16.9%	人件費の増加	15.8%
	4位	その他	12.7%	人手不足	
	5位	人手不足	11.3%	店舗の狭小・老朽化	11.8%
建設業	1位	資材価格の上昇	76.5%	資材価格の上昇	63.6%
	2位	売上（受注）の不振	47.1%	売上（受注）の不振	40.9%
	3位	人手不足	35.3%	人手不足	31.8%
	4位	受注単価引下げ要請	11.8%	人件費の増加	15.9%
	5位	人件費の増加	5.9%	資金繰り難	9.1%
サービス業	1位	売上（受注）の不振	46.2%	売上（受注）の不振	42.3%
	2位	人手不足	26.1%	人手不足	21.1%
	3位	その他	21.0%	人件費の増加	17.1%
	4位	外注コスト増	19.3%	外注コスト増	16.3%
	5位	人件費の増加	13.4%	その他	13.8%

※本調査は選択肢から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

#### (4) 来期（令和5年7月～9月期）の見通しについて

##### ① 来期の業況判断D. I.

「来期の業況判断D. I.」は、来期（令和5年7月～9月。以下同様。）の総合的な業況が、前年同期（令和4年7月～9月。以下、(4)において同じ。）と比べて、「好転」、「やや好転」すると見込む事業所の割合から、「悪化」、「やや悪化」すると見込む事業所の割合を差し引いた値です。

全業種の来期の業況判断D. I. は $\Delta 21.1$ で、今期の業況判断D. I. ( $\Delta 15.5$ ) と比べ悪化傾向にあり、短期的には江南市の景気はやや悪化する見通しとなっています。

##### 業況判断D. I.

	江南市	愛知県
業種	R5 7-9 (来期)	R5 7-9 (来期)
全業種	$\Delta 21.1$	$\Delta 18.0$
製造業	$\Delta 30.0$	$\Delta 15.0$
卸・小売業	$\Delta 35.4$	$\Delta 25.8$
建設業	$\Delta 15.8$	$\Delta 27.7$
サービス業	$\Delta 9.8$	$\Delta 15.0$

##### ② 来期の売上D. I.

「来期の売上D. I.」は、来期の売上が、前年同期と比べて、「増加」、「やや増加」すると見込む事業所の割合から、「減少」、「やや減少」すると見込む事業所の割合を差し引いた値です。

全業種の来期の売上D. I. は $\Delta 17.9$ となりました。

##### 売上D. I.

	江南市	愛知県
業種	R5 7-9 (来期)	R5 7-9 (来期)
全業種	$\Delta 17.9$	$\Delta 13.5$
製造業	$\Delta 25.1$	$\Delta 10.5$
卸・小売業	$\Delta 31.5$	$\Delta 21.5$
建設業	$\Delta 15.9$	$\Delta 10.8$
サービス業	$\Delta 6.6$	$\Delta 15.8$

### ③ 来期の採算D. I.

「来期の採算D. I.」は、来期採算を「黒字」と見込む事業所の割合から、「赤字」と見込む事業所の割合を差し引いた値です。

全業種の来期の採算D. I. は△9.9となりました。

#### 採算D. I.

	江南市	愛知県
業種	R5 7-9 (来期)	R5 7-9 (来期)
全業種	△9.9	△3.7
製造業	1.7	△5.0
卸・小売業	△23.7	△10.4
建設業	△4.6	10.8
サービス業	△8.9	11.7

### ④ 来期の設備投資計画率

「設備投資計画率」は、来期に設備投資を行う計画が「ある」とする事業所の割合です。

全業種の来期の設備投資計画率は13.9%となりました。

#### 設備投資計画率

	江南市	愛知県
業種	R5 7-9 (来期)	R5 7-9 (来期)
全業種	13.9	28.0
製造業	23.3	31.2
卸・小売業	7.9	21.2
建設業	18.2	26.2
サービス業	11.4	24.0

### ⑤ 来期の資金繰りD. I.

「来期の資金繰りD. I.」は、来期の資金繰りが、前年同期と比べて、「好転」、「やや好転」と見込む事業所の割合から、「悪化」、「やや悪化」と見込む事業所の割合を差し引いた値です。

全業種の来期の資金繰りD. I. は△20.2となりました。

#### 資金繰りD. I.

	江南市	愛知県
業種	R5 7-9 (来期)	R5 7-9 (来期)
全業種	△20.2	△18.5
製造業	△18.3	△17.9
卸・小売業	△31.6	△24.7
建設業	△18.1	△15.4
サービス業	△14.6	△10.0

## (5) 市の中小企業振興支援策について

### ① 現在の支援策の過不足

この設問では、現在、市が実施している支援策の過不足について、「十分である」、「不足している」、「わからない」の選択肢から選ぶ形式で調査しました。

その結果、「十分である」が6.3%、「不足している」が15.5%、「わからない」が71.9%となりました。

前年の結果と比較すると、「十分である」が0.2ポイント増加し、「不足している」が0.5ポイント増加し、「わからない」が1.8ポイント減少しました。

### 現在の支援策の過不足の動向

選択肢	R3	R4	R5 (当期)
十分である	8.6%	6.1%	↗ 6.3%
不足している	16.6%	15.0%	↗ 15.5%
わからない	70.3%	73.7%	↘ 71.9%
未回答	4.5%	5.1%	↗ 6.3%

※矢印はR4との比較

## ② 今後必要と思われる支援策とその理由

次に、「今後必要と思われる支援策」について、選択肢から選ぶ形式で調査しました。

全業種では「事業承継支援」、「雇用・人材育成支援」が21.5%で最も多く、「研究開発・設備投資支援」が10.9%で3位、「販路開拓支援」が10.6%で4位、「企業連携支援」が6.3%で5位となりました。

業種別に見ると、製造業、建設業及びサービス業では「雇用・人材育成支援」が1位、卸・小売業では「事業承継支援」が1位となりました。

### 今後必要と思われる支援策

選択肢	全業種									
	全業種		製造業		卸・小売業		建設業		サービス業	
事業承継支援	1位	21.5%	2位	23.3%	1位	25.0%	2位	27.3%	2位	16.3%
雇用・人材育成支援	1位	21.5%	1位	26.7%	3位	15.8%	1位	31.8%	1位	18.7%
研究開発・設備投資支援	3位	10.9%	3位	16.7%		3.9%	3位	13.6%	3位	11.4%
販路開拓支援	4位	10.6%	4位	8.3%	2位	18.4%	4位	11.4%		6.5%
企業連携支援	5位	6.3%		3.3%	4位	13.2%		2.3%		4.9%
介護支援		5.9%	5位	5.0%		5.3%	5位	4.5%	4位	7.3%
子育て支援		5.6%		1.7%	5位	6.6%	5位	4.5%	4位	7.3%
経営革新支援		3.0%		3.3%		3.9%		2.3%		2.4%
農商工連携支援		2.3%		0.0%		1.3%	5位	4.5%		3.3%
知的財産・ブランド化支援		2.0%		3.3%		3.9%		0.0%		0.8%
その他		1.7%		0.0%		1.3%		2.3%		2.4%
海外進出支援		0.7%		1.7%		0.0%		2.3%		0.0%

※本調査は選択肢から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

## 選択した理由、今後期待する支援の内容等

### 事業承継支援

業種	意見の概要
製造業	○特定分野でなく、全事業に事業承継しやすい環境整備の必要性を感じる。
卸・小売業	○承継に向けたマッチング支援や売却資金補助をしてほしい。
	○後継者不足による廃業に悩む事業者が増加すると思われるため。
建設業	○承継する人材がいないため。
サービス業	○事業承継に係る融資や補助金等の案内をしてほしい。
	○後継者への支援をしてほしい。

### 雇用・人材育成支援

業種	意見の概要
製造業	○人材の確保、育成が重要な課題となっている。
卸・小売業	○従業員（高齢者等）の確保が課題のため。
建設業	○外国人労働者、日本の若者への支援強化をしてほしい。
	○新規雇用者の育成期間給料補助をしてほしい。
サービス業	○新卒向け企業説明会の機会を増やしてほしい。
	○社会人としての一般常識の教育をしてほしい。

### 研究開発・設備投資支援

業種	意見の概要
製造業	○企業の競争力強化のため、先端設備への投資が必要であるため。
	○機械の値上がり幅が大きく、設備投資ができないため。
サービス業	○研究・開発や小規模設備投資への支援をしてほしい。

### 販路開拓支援

業種	意見の概要
製造業	○近場の取引先のマッチングを商工会議所等でやっていただきたい。
卸・小売業	○異業種の顧客開拓や、地域の顧客とつながっていききたい。
サービス業	○販路を広げることにより、人材の確保や街の活性化につながる。

### 企業連携支援

業種	意見の概要
建設業	○異業種の企業間でのネットワークの構築が必要と思う。

## (6) 物価等の高騰に伴う価格転嫁の状況及び江南市企業紹介冊子について

物価及びエネルギー価格の高騰による影響を、販売価格等へ転嫁できているか、転嫁の状況について5段階評価で選ぶ形式で調査しました。

全業種では「転嫁できていない」が40.6%となり、「転嫁できている」の27.4%を上回りました。

業種別に見ると、卸・小売業、建設業では「転嫁できている」が「転嫁できていない」を上回った一方、製造業、サービス業では「転嫁できていない」が「転嫁できている」を上回る結果となりました。

また、転嫁できていない理由としては、取引先や顧客からの価格据置き要望や、価格転嫁による取引先、顧客減少の懸念といった回答が多くを占めました。

### 物価等の高騰に伴う価格転嫁の状況

選択肢	全業種				
	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業	
(転嫁できていない) 1	72(23.8%)	13(21.7%)	13(17.1%)	3(6.8%)	43(35.0%)
2	51(16.8%)	11(18.3%)	11(14.5%)	9(20.5%)	20(16.3%)
3	48(15.8%)	10(16.7%)	15(19.7%)	10(22.7%)	13(10.6%)
4	70(23.1%)	13(21.7%)	26(34.2%)	13(29.5%)	18(14.6%)
5 (転嫁できている)	13(4.3%)	3(5.0%)	4(5.3%)	2(4.5%)	4(3.3%)
未回答	49(16.2%)	10(16.7%)	7(9.2%)	7(15.9%)	25(20.3%)

※「転嫁できていない」は選択肢1, 2の、「転嫁できている」は選択肢4, 5の合計値。

また、市で作成している江南市企業紹介冊子への掲載の意向については、全業種で10.9%の事業所が「掲載を希望する」との回答がありました。

	全業種				
	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業	
掲載を希望する	33(10.9%)	2(3.3%)	12(15.8%)	5(11.4%)	14(11.4%)
掲載を希望しない	123(40.6%)	26(43.3%)	27(35.5%)	20(45.5%)	50(40.7%)
未定	119(39.3%)	26(43.3%)	33(43.4%)	18(40.9%)	42(34.1%)
掲載済み	5(1.7%)	2(3.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)	3(2.4%)
未回答	23(7.6%)	4(6.7%)	4(5.3%)	1(2.3%)	14(11.4%)



## (7) 中小企業再投資促進奨励金について

市では、市内事業所の設備投資を促進することを目的に、「中小企業再投資促進奨励金」制度を設けています。

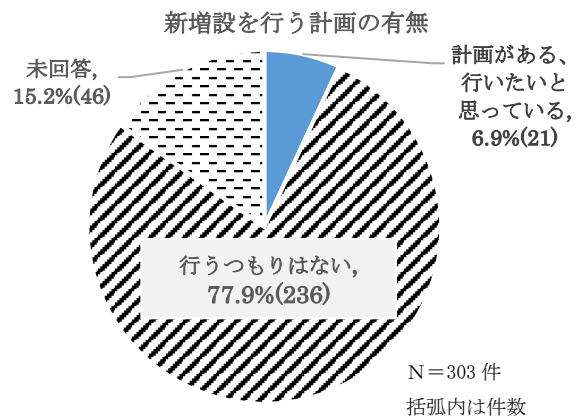
本設問は、この制度の今後の活用見込みを把握するため、お聞きしたものです。

### ① 事業所の新增設

この設問では、今後、事業所の新增設を行う計画があるかについて、「新增設を行う計画がある、行いたいと思っている」、「新增設を行うつもりはない」の選択肢から選ぶ形式で調査しました。また、計画がある場合は、新增設を行う時期と事業所の敷地面積について自由記入形式で、新增設を行う場所について「市内」、「市外」、「未定」の選択肢から選ぶ形式で調査しました。

新增設を行う計画の有無については、「計画がある、行いたいと思っている」が6.9%、「行うつもりはない」が77.9%となりました。

次に、「計画がある、行いたいと思っている」と回答した21事業所について、計画の内容を敷地面積別、場所別にまとめたところ、下表のとおりとなりました。



#### 事業所の新增設を行う事業所数(新增設を行う事業所の敷地面積別)

	～100坪	101坪～500坪	501坪～1,000坪	1,001坪～2,000坪	2,001坪～	未定	未回答	合計
令和5年	2	0	0	0	0	0	1	3
令和6年	1	1	1	1	0	1	1	6
令和7年	0	0	1	0	1	1	0	3
令和8年以降	0	3	0	0	1	0	1	5
時期未定	0	1	0	1	0	0	1	3
未回答	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	3	5	2	2	2	2	5	21

#### 事業所の新增設を行う事業所数(新增設を行う場所別)

	市内	市外	未定	未回答	合計
令和5年	2	1	0	0	3
令和6年	4	0	2	0	6
令和7年	1	1	1	0	3
令和8年以降	3	0	2	0	5
時期未定	2	0	1	0	3
未回答	0	0	1	0	1
合計	12	2	7	0	21

## ② 償却資産の取得

この設問では、今後3年間に年間100万円以上の償却資産（事業のために用いる機械・器具・備品等）を取得する計画があるかを調査しました。また、計画がある場合は取得時期と取得金額を自由記入形式で調査しました。

償却資産を取得する計画がある事業所数は、製造業が6事業所、卸・小売業が3事業所、建設業が7事業所、サービス業が7事業所であり、合計で23事業所となりました。

計画の件数を年度別に見ると、令和5年は3件、令和6年は13件、令和7年は7件、令和8年以降は6件、時期未定は3件でした。

取得金額別に見たところ、中小企業再投資促進奨励金の交付要件を満たす案件は、製造業で2件、卸・小売業で2件、建設業で3件、サービス業で7件でした。

### 償却資産の取得計画件数(取得時期 別)

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年 以降	時期未定	合計	事業所数
製造業	1	2	2	2	1	8	6
卸・小売業	0	1	0	0	2	3	3
建設業	2	4	4	2	0	12	7
サービス業	0	6	1	2	0	9	7
合計	3	13	7	6	3	32	23

※年間100万円以上の償却資産を取得する事業所のみが対象（以下同様）。

※同一事業所が複数年にわたり償却資産を取得する場合があるため、業種別の取得計画件数の合計と「事業所数」は異なる。

### 償却資産の取得計画件数(取得金額 別)

	100万円～ 199万円	200万円～ 999万円	1,000万円～ 1,499万円	1,500万円～ 1,999万円	2,000万円 ～	金額 未定	合計
製造業	0	0	1	0	2	5	8
卸・小売業	0	1	0	0	1	1	3
建設業	3	3	1	1	3	1	12
サービス業	0	3	3	0	1	2	9
合計	3	7	5	1	7	9	32

※網掛けは、中小企業再投資促進奨励金の交付要件を満たす事業所。

【交付要件】 製造業、建設業＝年総額2,000万円以上 卸・小売業、サービス業＝年総額200万円以上

## (8) 自由意見等

本設問は、本市の商工業施策に関してのご意見、ご要望を自由記入形式でお聞きしたものです。

主なご意見は次のとおりです。

業 種	意 見 の 概 要
製造業	○事業主の高齢化、後継者不足が深刻な問題である。
	○原材料価格等の高騰に対し、取引先減少の懸念から、製品値上げ交渉もできない状況である。
卸・小売業	○市の発展の為、企業誘致、観光施設・商業施設の整備、交通網整備等に力を入れて取り組むべきである。
	○市の支援制度について初めて知りました。具体的な手続き等わかるとありがたいです。
サービス業	○市街化調整区域の市街化区域への変更あるいは大幅な規制緩和（用途変更等の柔軟な対応）を検討してほしい。
	○資金繰りが悪化している事業主が多くなっているため、援助してあげてほしい。

## 2. ヒアリングによる調査

### (1) 調査の趣旨と対象事業所について

事業所の生の声をお聞きすることで、業種ごとの実態や必要とされる施策等をより正確に把握するため、回答があった事業所の中から10社を抽出し、ヒアリング調査を行いました。

#### 調査を実施した事業所

業種	事業所数
製造業	3社
卸・小売業	3社
建設業	2社
サービス業	2社
合計	10社

### (2) 結果のまとめ

#### ①経営状況について

調査票による調査によると、今期の業況判断D. I. は前年実績を8.6ポイント改善し△15.5となり、依然としてマイナスではありますが、昨年同期よりも状況が好転しているという結果となりました。この実態についてヒアリング調査を行ったところ、次のような声が聞かれました。

- 仕入もエネルギーも価格が上昇し、すべてを転嫁することができていないため、売上は上がっているものの利益は増えていない。(製造業)
- コロナ前と比較すると客数は減少したものの、一人当たりの客単価は上がった。(サービス業)
- 世間的な設備投資が減っていると感じる。(製造業)
- 部品供給に遅れが発生している時期にいろいろな方面から発注したものが、今では過剰な在庫となっている。(サービス業)
- 仕入価格が上がったが、仕事の量も増えた。(卸・小売業)
- 少しずつ価格転嫁ができはじめている。(建設業)

前年と比較すると、依然としてコロナの影響が残っている企業もありますが、日常生活の回復により、商品の製造数の増加や消費の拡大などが起こり、売上が増加している企業があるようです。

一方で、主要原材料やエネルギーの価格上昇の影響を受けており、売上の増加が利益の増加に結び付いていない企業が多いようです。

## ②雇用状況について

調査票による調査によると、今期の雇用人員D. I. は前年実績を2.8ポイント下回る△24.0となり、人手不足の傾向が強くなっているという結果となりました。この実態についてヒアリング調査で伺ったところ、次のような声が聞かれました。

- 生産能力が不足しているため、受注件数を調整している。(製造業)
- シフト勤務であるため、少し過剰気味な人員をシフトで調整することで、適正化を図っている。(サービス業)

前年は、すべての業種で雇用人員D. I. がマイナスとなっておりますが、今年もサービス業以外ではマイナス幅が拡大する結果となっており、多くの企業において人手不足の状況が続いていることが分かります。

## ③融資状況について

融資について、ヒアリング調査では次のような声が聞かれました。

- 今後の経営状況が予想できないため、無利子・無担保融資を受けた。(卸・小売業)
- コロナの影響が強い時期に融資の借り換えも含め、無利子・無担保融資を受けた。(建設業)
- コロナのゼロゼロ融資を受けたが、今年で完済できる予定である。(製造業)
- コロナの影響を受け、自己資金でまかなう予定としていたが、金融機関の勧めにより無利子・無担保融資を受けることにした。(製造業)

前年はコロナ対策として日本政策金融公庫が行っている「当初3年間は実質的に無利子・無担保」の融資制度を利用して、コロナの収束が見通せない中で「万一の備え」として融資を受けている企業が一定数ありました。今年も同制度の融資を利用している状況であることが見受けられ、順調に返済している企業が多いことが分かりました。

#### ④市へ求める支援策について

市へ求める支援策においては、次のような声が聞かれました。

- 女性の従業員が多いため、子育て支援を充実していただければ雇用の確保につながる。(サービス業)
- 事業の売却を検討していたが、うまく進められなかったため、事業承継支援をしてほしい。(卸・小売業)
- 遠方への出荷も行っているが、近場のユーザーを確保できると良いと感じる。(卸・小売業)

現在、市が実施している支援策の過不足について、「不足している」と回答している事業所は15.5%と、前年の割合から微増しています。今年度は、市独自のコロナ支援等として「エネルギー価格高騰対策支援金」を実施しているほか、経済対策として今後「キャッシュレス決済ポイント還元事業」を予定していますが、それ以外にもヒアリング調査により、様々な課題や問題点に対する支援を求める声が聞かれました。

今後も継続して事業者のニーズを把握し、江南市中小企業振興会議の中で適切な支援策を検討していくとともに、国や県、会議所などが実施している支援策についての情報発信もしっかりと行っていくことが求められています。

## 巻末資料 調査票の集計結果

### I 貴社（貴殿）について

問1 貴社（貴殿）についてご記入ください。

○業種コード

製造業	60 ( 19.8 %)
食料品	5 ( 1.7 %)
綿・スフ織物	2 ( 0.7 %)
毛織物	1 ( 0.3 %)
メリヤス	0 ( 0.0 %)
染色整理	0 ( 0.0 %)
繊維ロープ	0 ( 0.0 %)
その他繊維	4 ( 1.3 %)
衣服製品	4 ( 1.3 %)
製材	0 ( 0.0 %)
合板	0 ( 0.0 %)
その他木製品	0 ( 0.0 %)
家具・装備品	1 ( 0.3 %)
紙・加工品	2 ( 0.7 %)
出版・印刷	1 ( 0.3 %)
化学・ゴム	1 ( 0.3 %)
和食器	0 ( 0.0 %)
洋食器	0 ( 0.0 %)
ノベルティ	0 ( 0.0 %)
陶器瓦	0 ( 0.0 %)
石工品	0 ( 0.0 %)
その他窯業	2 ( 0.7 %)
鉄鋼・非鉄	3 ( 1.0 %)
金属製品	18 ( 5.9 %)
一般機器	2 ( 0.7 %)
電気機器	4 ( 1.3 %)
輸送機器	2 ( 0.7 %)
精密機器	0 ( 0.0 %)
その他製造業	8 ( 2.6 %)
卸・小売業	76 ( 25.1 %)
衣服卸売業	2 ( 0.7 %)
食料品卸売業	3 ( 1.0 %)
家具卸売業	1 ( 0.3 %)
機械器具卸売業	5 ( 1.7 %)
その他卸売業	11 ( 3.6 %)
衣服小売業	5 ( 1.7 %)
食料品小売業	14 ( 4.6 %)
家具・家電小売業	4 ( 1.3 %)
その他小売業	31 ( 10.2 %)
建設業	44 ( 14.5 %)
建築	23 ( 7.6 %)
土木	21 ( 6.9 %)
サービス業	123 ( 40.6 %)
飲食	33 ( 10.9 %)
理美容	21 ( 6.9 %)
運送	3 ( 1.0 %)
その他サービス業	66 ( 21.8 %)

○従業員規模

10人以下	192 ( 63.4 %)
11人～20人	38 ( 12.5 %)
21人～50人	21 ( 6.9 %)
51人～100人	7 ( 2.3 %)
101人以上	9 ( 3.0 %)
未回答	36 ( 11.9 %)
合計	303 ( 100.0 %)

○年間売上規模

500万円未満	42 ( 13.9 %)
500万円～999万円	32 ( 10.6 %)
1,000万円～1,999万円	33 ( 10.9 %)
2,000万円～4,999万円	46 ( 15.2 %)
5,000万円以上	110 ( 36.3 %)
未回答	40 ( 13.2 %)
合計	303 ( 100.0 %)

## Ⅱ 当期（令和5年4月～6月期）の経営実績について

問2 前年同期（令和4年4月～6月）と比べてどうでしたか。該当する番号に○印をつけてください。

### ○総合的な判断【全業種】

	①好転	②やや好転	③不変	④やや悪化	⑤悪化	未回答	合計
全業種	8 ( 2.6 %)	67 ( 22.1 %)	102 ( 33.7 %)	68 ( 22.4 %)	54 ( 17.8 %)	4 ( 1.3 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	1 ( 1.7 %)	14 ( 23.3 %)	13 ( 21.7 %)	16 ( 26.7 %)	14 ( 23.3 %)	2 ( 3.3 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	2 ( 2.6 %)	14 ( 18.4 %)	24 ( 31.6 %)	17 ( 22.4 %)	18 ( 23.7 %)	1 ( 1.3 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	1 ( 2.3 %)	8 ( 18.2 %)	20 ( 45.5 %)	8 ( 18.2 %)	7 ( 15.9 %)	0 ( 0.0 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	4 ( 3.3 %)	31 ( 25.2 %)	45 ( 36.6 %)	27 ( 22.0 %)	15 ( 12.2 %)	1 ( 0.8 %)	123 ( 100.0 %)

### ○売上高・施工高【全業種】

	①増加	②やや増加	③不変	④やや減少	⑤減少	未回答	合計
全業種	9 ( 3.0 %)	73 ( 24.1 %)	82 ( 27.1 %)	74 ( 24.4 %)	60 ( 19.8 %)	5 ( 1.7 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	2 ( 3.3 %)	16 ( 26.7 %)	11 ( 18.3 %)	13 ( 21.7 %)	16 ( 26.7 %)	2 ( 3.3 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	2 ( 2.6 %)	16 ( 21.1 %)	21 ( 27.6 %)	20 ( 26.3 %)	15 ( 19.7 %)	2 ( 2.6 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	1 ( 2.3 %)	8 ( 18.2 %)	16 ( 36.4 %)	10 ( 22.7 %)	9 ( 20.5 %)	0 ( 0.0 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	4 ( 3.3 %)	33 ( 26.8 %)	34 ( 27.6 %)	31 ( 25.2 %)	20 ( 16.3 %)	1 ( 0.8 %)	123 ( 100.0 %)

### ○資金繰り【全業種】

	①好転	②やや好転	③不変	④やや悪化	⑤悪化	未回答	合計
全業種	2 ( 0.7 %)	38 ( 12.5 %)	149 ( 49.2 %)	57 ( 18.8 %)	43 ( 14.2 %)	14 ( 4.6 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	0 ( 0.0 %)	7 ( 11.7 %)	32 ( 53.3 %)	9 ( 15.0 %)	8 ( 13.3 %)	4 ( 6.7 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	1 ( 1.3 %)	10 ( 13.2 %)	34 ( 44.7 %)	15 ( 19.7 %)	14 ( 18.4 %)	2 ( 2.6 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	0 ( 0.0 %)	5 ( 11.4 %)	26 ( 59.1 %)	9 ( 20.5 %)	4 ( 9.1 %)	0 ( 0.0 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	1 ( 0.8 %)	16 ( 13.0 %)	57 ( 46.3 %)	24 ( 19.5 %)	17 ( 13.8 %)	8 ( 6.5 %)	123 ( 100.0 %)

### ○販売価格【製造業、卸・小売業、サービス業】

	①上昇	②やや上昇	③不変	④やや低化	⑤低化	未回答	合計
合計	16 ( 6.2 %)	93 ( 35.9 %)	84 ( 32.4 %)	28 ( 10.8 %)	26 ( 10.0 %)	12 ( 4.6 %)	259 ( 100.0 %)
製造業	3 ( 5.0 %)	25 ( 41.7 %)	18 ( 30.0 %)	3 ( 5.0 %)	7 ( 11.7 %)	4 ( 6.7 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	8 ( 10.5 %)	37 ( 48.7 %)	13 ( 17.1 %)	8 ( 10.5 %)	7 ( 9.2 %)	3 ( 3.9 %)	76 ( 100.0 %)
サービス業	5 ( 4.1 %)	31 ( 25.2 %)	53 ( 43.1 %)	17 ( 13.8 %)	12 ( 9.8 %)	5 ( 4.1 %)	123 ( 100.0 %)

### ○仕入価格等【製造業、卸・小売業、建設業】

	①上昇	②やや上昇	③不変	④やや低化	⑤低化	未回答	合計
合計	82 ( 45.6 %)	63 ( 35.0 %)	20 ( 11.1 %)	3 ( 1.7 %)	3 ( 1.7 %)	9 ( 5.0 %)	180 ( 100.0 %)
製造業	29 ( 48.3 %)	18 ( 30.0 %)	6 ( 10.0 %)	0 ( 0.0 %)	1 ( 1.7 %)	6 ( 10.0 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	31 ( 40.8 %)	28 ( 36.8 %)	10 ( 13.2 %)	2 ( 2.6 %)	2 ( 2.6 %)	3 ( 3.9 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	22 ( 50.0 %)	17 ( 38.6 %)	4 ( 9.1 %)	1 ( 2.3 %)	0 ( 0.0 %)	0 ( 0.0 %)	44 ( 100.0 %)

### ○設備の稼働状況【製造業】

	①上昇	②やや上昇	③不変	④やや低化	⑤低化	未回答	合計
製造業	3 ( 5.0 %)	9 ( 15.0 %)	25 ( 41.7 %)	9 ( 15.0 %)	11 ( 18.3 %)	3 ( 5.0 %)	60 ( 100.0 %)

### ○顧客（発注先）数【サービス業】

	①増加	②やや増加	③不変	④やや減少	⑤減少	未回答	合計
サービス業	3 ( 2.4 %)	25 ( 20.3 %)	40 ( 32.5 %)	27 ( 22.0 %)	24 ( 19.5 %)	4 ( 3.3 %)	123 ( 100.0 %)



○在庫水準【製造業、卸・小売業】

	①過大	②ほぼ適正	③不足	未回答	合計
合計	21 ( 15.4 %)	89 ( 65.4 %)	15 ( 11.0 %)	11 ( 8.1 %)	136 ( 100.0 %)
製造業	10 ( 16.7 %)	37 ( 61.7 %)	4 ( 6.7 %)	9 ( 15.0 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	11 ( 14.5 %)	52 ( 68.4 %)	11 ( 14.5 %)	2 ( 2.6 %)	76 ( 100.0 %)

問3 採算、設備投資、雇用人員はどうでしたか。該当する番号に○印をつけてください。

○採算

	①黒字	②収支トントン	③赤字	未回答	合計
全業種	69 ( 22.8 %)	118 ( 38.9 %)	102 ( 33.7 %)	14 ( 4.6 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	17 ( 28.3 %)	23 ( 38.3 %)	19 ( 31.7 %)	1 ( 1.7 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	13 ( 17.1 %)	27 ( 35.5 %)	33 ( 43.4 %)	3 ( 3.9 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	11 ( 25.0 %)	21 ( 47.7 %)	11 ( 25.0 %)	1 ( 2.3 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	28 ( 22.8 %)	47 ( 38.2 %)	39 ( 31.7 %)	9 ( 7.3 %)	123 ( 100.0 %)

○設備投資

	①行った	②行っていない	未回答	合計
全業種	53 ( 17.5 %)	234 ( 77.2 %)	16 ( 5.3 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	17 ( 28.3 %)	41 ( 68.3 %)	2 ( 3.3 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	7 ( 9.2 %)	66 ( 86.8 %)	3 ( 3.9 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	9 ( 20.5 %)	34 ( 77.3 %)	1 ( 2.3 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	20 ( 16.3 %)	93 ( 75.6 %)	10 ( 8.1 %)	123 ( 100.0 %)

○雇用人員

	①過剰	②やや過剰	③適正	④やや不足	⑤不足	未回答	合計
全業種	5 ( 1.7 %)	12 ( 4.0 %)	177 ( 58.4 %)	68 ( 22.4 %)	22 ( 7.3 %)	19 ( 6.3 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	3 ( 5.0 %)	4 ( 6.7 %)	29 ( 48.3 %)	15 ( 25.0 %)	7 ( 11.7 %)	2 ( 3.3 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	1 ( 1.3 %)	2 ( 2.6 %)	50 ( 65.8 %)	14 ( 18.4 %)	3 ( 3.9 %)	6 ( 7.9 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	0 ( 0.0 %)	0 ( 0.0 %)	23 ( 52.3 %)	14 ( 31.8 %)	6 ( 13.6 %)	1 ( 2.3 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	1 ( 0.8 %)	6 ( 4.9 %)	75 ( 61.0 %)	25 ( 20.3 %)	6 ( 4.9 %)	10 ( 8.1 %)	123 ( 100.0 %)

### Ⅲ 現在の経営状況について

問4 金融機関との取引状況はどうか。該当する番号に○印をつけてください。

○貸出態度

	①緩い	②それほど厳しくない	③厳しい	未回答	合計
全業種	38 ( 12.5 %)	161 ( 53.1 %)	35 ( 11.6 %)	69 ( 22.8 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	9 ( 15.0 %)	28 ( 46.7 %)	9 ( 15.0 %)	14 ( 23.3 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	11 ( 14.5 %)	44 ( 57.9 %)	6 ( 7.9 %)	15 ( 19.7 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	5 ( 11.4 %)	27 ( 61.4 %)	5 ( 11.4 %)	7 ( 15.9 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	13 ( 10.6 %)	62 ( 50.4 %)	15 ( 12.2 %)	33 ( 26.8 %)	123 ( 100.0 %)

○融資の状況（売上高に対する借入額の比率）

	①10%以下	②11%～30%	③31%～50%	④51%～70%	⑤71%以上	未回答	合計
全業種	124 ( 40.9 %)	46 ( 15.2 %)	25 ( 8.3 %)	21 ( 6.9 %)	13 ( 4.3 %)	74 ( 24.4 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	18 ( 30.0 %)	10 ( 16.7 %)	6 ( 10.0 %)	7 ( 11.7 %)	4 ( 6.7 %)	15 ( 25.0 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	37 ( 48.7 %)	11 ( 14.5 %)	5 ( 6.6 %)	5 ( 6.6 %)	2 ( 2.6 %)	16 ( 21.1 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	20 ( 45.5 %)	10 ( 22.7 %)	5 ( 11.4 %)	4 ( 9.1 %)	0 ( 0.0 %)	5 ( 11.4 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	49 ( 39.8 %)	15 ( 12.2 %)	9 ( 7.3 %)	5 ( 4.1 %)	7 ( 5.7 %)	38 ( 30.9 %)	123 ( 100.0 %)

問5 現在の経営上の問題点は何ですか。該当する番号2つまでに○印をつけてください。

製造業	①売上（受注）の不振	24（40.0 %）
	②原材料価格の上昇	34（56.7 %）
	③金融費用の増加	0（0.0 %）
	④資金繰り難	5（8.3 %）
	⑤人手不足	15（25.0 %）
	⑥人件費の増加	7（11.7 %）
	⑦製品安・値下げ要求	4（6.7 %）
	⑧エネルギー費用の増加	14（23.3 %）
	⑨その他	4（6.7 %）
（回答事業所数）		60

卸・小売業	①売上の不振	35（46.1 %）
	②仕入価格の上昇	42（55.3 %）
	③金融費用の増加	0（0.0 %）
	④資金繰り難	3（3.9 %）
	⑤人手不足	9（11.8 %）
	⑥人件費の増加	12（15.8 %）
	⑦大型店・新業態の小売店出店	8（10.5 %）
	⑧店舗の狭小・老朽化	9（11.8 %）
	⑨その他	6（7.9 %）
（回答事業所数）		76

建設業	①売上（受注）の不振	18（40.9 %）
	②資材価格の上昇	28（63.6 %）
	③金融費用の増加	0（0.0 %）
	④資金繰り難	4（9.1 %）
	⑤人手不足	14（31.8 %）
	⑥人件費の増加	7（15.9 %）
	⑦受注単価引下げ要請	3（6.8 %）
	⑧その他	0（0.0 %）
（回答事業所数）		44

サービス業	①売上（受注）の不振	52（42.3 %）
	②外注コスト増	20（16.3 %）
	③金融費用の増加	1（0.8 %）
	④資金繰り難	11（8.9 %）
	⑤人手不足	26（21.1 %）
	⑥人件費の増加	21（17.1 %）
	⑦受注単価引下げ要請	4（3.3 %）
	⑧新規参入増	7（5.7 %）
	⑨その他	17（13.8 %）
（回答事業所数）		123

※回答率は、回答事業所数に対する回答件数の割合。

本調査は選択肢から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は回答事業所数及び100%を超える。

## Ⅳ 来期（令和5年7月～9月期）の見通しについて

問6 前年同期（令和4年7月～9月）と比べてどうなると思いますか。  
該当する番号に○印をつけてください。

### ○総合的な判断

	①好転	②やや好転	③不変	④やや悪化	⑤悪化	未回答	合計
全業種	7 ( 2.3 %)	53 ( 17.5 %)	110 ( 36.3 %)	76 ( 25.1 %)	48 ( 15.8 %)	9 ( 3.0 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	4 ( 6.7 %)	6 ( 10.0 %)	21 ( 35.0 %)	15 ( 25.0 %)	13 ( 21.7 %)	1 ( 1.7 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	0 ( 0.0 %)	10 ( 13.2 %)	26 ( 34.2 %)	22 ( 28.9 %)	15 ( 19.7 %)	3 ( 3.9 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	1 ( 2.3 %)	9 ( 20.5 %)	16 ( 36.4 %)	10 ( 22.7 %)	7 ( 15.9 %)	1 ( 2.3 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	2 ( 1.6 %)	28 ( 22.8 %)	47 ( 38.2 %)	29 ( 23.6 %)	13 ( 10.6 %)	4 ( 3.3 %)	123 ( 100.0 %)

### ○売上高・施工高

	①増加	②やや増加	③不変	④やや減少	⑤減少	未回答	合計
全業種	8 ( 2.6 %)	56 ( 18.5 %)	109 ( 36.0 %)	66 ( 21.8 %)	52 ( 17.2 %)	12 ( 4.0 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	5 ( 8.3 %)	8 ( 13.3 %)	18 ( 30.0 %)	12 ( 20.0 %)	16 ( 26.7 %)	1 ( 1.7 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	0 ( 0.0 %)	10 ( 13.2 %)	28 ( 36.8 %)	19 ( 25.0 %)	15 ( 19.7 %)	4 ( 5.3 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	1 ( 2.3 %)	8 ( 18.2 %)	18 ( 40.9 %)	8 ( 18.2 %)	8 ( 18.2 %)	1 ( 2.3 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	2 ( 1.6 %)	30 ( 24.4 %)	45 ( 36.6 %)	27 ( 22.0 %)	13 ( 10.6 %)	6 ( 4.9 %)	123 ( 100.0 %)

### ○資金繰り

	①好転	②やや好転	③不変	④やや悪化	⑤悪化	未回答	合計
全業種	3 ( 1.0 %)	27 ( 8.9 %)	157 ( 51.8 %)	55 ( 18.2 %)	36 ( 11.9 %)	25 ( 8.3 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	1 ( 1.7 %)	4 ( 6.7 %)	35 ( 58.3 %)	7 ( 11.7 %)	9 ( 15.0 %)	4 ( 6.7 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	0 ( 0.0 %)	6 ( 7.9 %)	35 ( 46.1 %)	18 ( 23.7 %)	12 ( 15.8 %)	5 ( 6.6 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	1 ( 2.3 %)	5 ( 11.4 %)	22 ( 50.0 %)	12 ( 27.3 %)	2 ( 4.5 %)	2 ( 4.5 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	1 ( 0.8 %)	12 ( 9.8 %)	65 ( 52.8 %)	18 ( 14.6 %)	13 ( 10.6 %)	14 ( 11.4 %)	123 ( 100.0 %)

問7 採算、設備投資計画の見通しはどうか。該当する番号に○印をつけてください。

### ○採算

	①黒字	②収支トントン	③赤字	未回答	合計
全業種	50 ( 16.5 %)	147 ( 48.5 %)	80 ( 26.4 %)	26 ( 8.6 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	13 ( 21.7 %)	30 ( 50.0 %)	12 ( 20.0 %)	5 ( 8.3 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	9 ( 11.8 %)	34 ( 44.7 %)	27 ( 35.5 %)	6 ( 7.9 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	6 ( 13.6 %)	28 ( 63.6 %)	8 ( 18.2 %)	2 ( 4.5 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	22 ( 17.9 %)	55 ( 44.7 %)	33 ( 26.8 %)	13 ( 10.6 %)	123 ( 100.0 %)

### ○設備投資計画

	①ある	②ない	未回答	合計
全業種	42 ( 13.9 %)	242 ( 79.9 %)	19 ( 6.3 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	14 ( 23.3 %)	46 ( 76.7 %)	0 ( 0.0 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	6 ( 7.9 %)	65 ( 85.5 %)	5 ( 6.6 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	8 ( 18.2 %)	33 ( 75.0 %)	3 ( 6.8 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	14 ( 11.4 %)	98 ( 79.7 %)	11 ( 8.9 %)	123 ( 100.0 %)

## V 市の中小企業振興支援策について

問8 市の現在の支援策の過不足について、どのように思われますか。該当する番号に○印をつけてください。

	①十分である	②不足している	③分からない	未回答	合計
全業種	19 ( 6.3 %)	47 ( 15.5 %)	218 ( 71.9 %)	19 ( 6.3 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	4 ( 6.7 %)	11 ( 18.3 %)	44 ( 73.3 %)	1 ( 1.7 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	6 ( 7.9 %)	12 ( 15.8 %)	52 ( 68.4 %)	6 ( 7.9 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	5 ( 11.4 %)	7 ( 15.9 %)	29 ( 65.9 %)	3 ( 6.8 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	4 ( 3.3 %)	17 ( 13.8 %)	93 ( 75.6 %)	9 ( 7.3 %)	123 ( 100.0 %)

問9 今後、必要と思われる支援策は何ですか。該当する番号2つまでに○印をつけてください。また、その支援策を選択した理由や、今後期待する支援の内容等について記入してください。

	全業種	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
①事業承継支援	65 ( 21.5 %)	14 ( 23.3 %)	19 ( 25.0 %)	12 ( 27.3 %)	20 ( 16.3 %)
②研究開発・設備投資支援	33 ( 10.9 %)	10 ( 16.7 %)	3 ( 3.9 %)	6 ( 13.6 %)	14 ( 11.4 %)
③販路開拓支援	32 ( 10.6 %)	5 ( 8.3 %)	14 ( 18.4 %)	5 ( 11.4 %)	8 ( 6.5 %)
④雇用・人材育成支援	65 ( 21.5 %)	16 ( 26.7 %)	12 ( 15.8 %)	14 ( 31.8 %)	23 ( 18.7 %)
⑤企業連携支援	19 ( 6.3 %)	2 ( 3.3 %)	10 ( 13.2 %)	1 ( 2.3 %)	6 ( 4.9 %)
⑥経営革新支援	9 ( 3.0 %)	2 ( 3.3 %)	3 ( 3.9 %)	1 ( 2.3 %)	3 ( 2.4 %)
⑦知的財産・ブランド化支援	6 ( 2.0 %)	2 ( 3.3 %)	3 ( 3.9 %)	0 ( 0.0 %)	1 ( 0.8 %)
⑧農商工連携支援	7 ( 2.3 %)	0 ( 0.0 %)	1 ( 1.3 %)	2 ( 4.5 %)	4 ( 3.3 %)
⑨海外進出支援	2 ( 0.7 %)	1 ( 1.7 %)	0 ( 0.0 %)	1 ( 2.3 %)	0 ( 0.0 %)
⑩子育て支援	17 ( 5.6 %)	1 ( 1.7 %)	5 ( 6.6 %)	2 ( 4.5 %)	9 ( 7.3 %)
⑪介護支援	18 ( 5.9 %)	3 ( 5.0 %)	4 ( 5.3 %)	2 ( 4.5 %)	9 ( 7.3 %)
⑫その他	5 ( 1.7 %)	0 ( 0.0 %)	1 ( 1.3 %)	1 ( 2.3 %)	3 ( 2.4 %)
⑬未回答	109 ( 36.0 %)	21 ( 35.0 %)	21 ( 27.6 %)	14 ( 31.8 %)	53 ( 43.1 %)
(回答事業所数)	303	60	76	44	123

※回答率は、回答事業所数に対する回答件数の割合。

本調査は選択肢から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は回答事業所数及び100%を超える。

### ○支援策を選択した理由、今後期待する支援策の内容等

※結果については、13頁にまとめた。

## VI 物価等の高騰に伴う価格転嫁の状況及び江南市企業紹介冊子について

問10-1 物価及びエネルギー価格の高騰による影響を、貴社（貴殿）の販売価格へ転嫁できていますか。転嫁の状況について、5段階で評価をした際に該当する番号に○印をつけてください。また、1～3を回答した方は、その理由をご記入ください。

		全業種				
		製造業	卸・小売業	建設業	サービス業	
1 (転嫁できていない) ↑		72 ( 23.8 %)	13 ( 21.7 %)	13 ( 17.1 %)	3 ( 6.8 %)	43 ( 35.0 %)
2		51 ( 16.8 %)	11 ( 18.3 %)	11 ( 14.5 %)	9 ( 20.5 %)	20 ( 16.3 %)
3		48 ( 15.8 %)	10 ( 16.7 %)	15 ( 19.7 %)	10 ( 22.7 %)	13 ( 10.6 %)
4		70 ( 23.1 %)	13 ( 21.7 %)	26 ( 34.2 %)	13 ( 29.5 %)	18 ( 14.6 %)
5 (転嫁できている) ↓		13 ( 4.3 %)	3 ( 5.0 %)	4 ( 5.3 %)	2 ( 4.5 %)	4 ( 3.3 %)
未回答		49 ( 16.2 %)	10 ( 16.7 %)	7 ( 9.2 %)	7 ( 15.9 %)	25 ( 20.3 %)
(回答事業所数)		303	60	76	44	123

※回答率は、回答事業所数に対する回答件数の割合。

※理由については、14頁にまとめた。

問10-2 市では、市民に市内企業を知っていただくため、江南市企業紹介冊子を作成しています。今後も継続して作成することを予定していますが、企業紹介冊子への掲載の意向について選択してください。

		全業種				
		製造業	卸・小売業	建設業	サービス業	
掲載を希望する		33 ( 10.9 %)	2 ( 3.3 %)	12 ( 15.8 %)	5 ( 11.4 %)	14 ( 11.4 %)
掲載を希望しない		123 ( 40.6 %)	26 ( 43.3 %)	27 ( 35.5 %)	20 ( 45.5 %)	50 ( 40.7 %)
未定		119 ( 39.3 %)	26 ( 43.3 %)	33 ( 43.4 %)	18 ( 40.9 %)	42 ( 34.1 %)
掲載済み		5 ( 1.7 %)	2 ( 3.3 %)	0 ( 0.0 %)	0 ( 0.0 %)	3 ( 2.4 %)
未回答		23 ( 7.6 %)	4 ( 6.7 %)	4 ( 5.3 %)	1 ( 2.3 %)	14 ( 11.4 %)
(回答事業所数)		303	60	76	44	123

※回答率は、回答事業所数に対する回答件数の割合。

## VII 中小企業再投資促進奨励金について

問11-1 事業所の新增設について伺います。今後、事業所の新增設を行う計画はありますか。該当する番号に○印をつけてください。

	①計画がある、 行いたいと 思っている	②新增設を行う つもりはない	未回答	合計
全業種	21 ( 6.9 %)	236 ( 77.9 %)	46 ( 15.2 %)	303 ( 100.0 %)
製造業	8 ( 13.3 %)	43 ( 71.7 %)	9 ( 15.0 %)	60 ( 100.0 %)
卸・小売業	2 ( 2.6 %)	60 ( 78.9 %)	14 ( 18.4 %)	76 ( 100.0 %)
建設業	4 ( 9.1 %)	33 ( 75.0 %)	7 ( 15.9 %)	44 ( 100.0 %)
サービス業	7 ( 5.7 %)	100 ( 81.3 %)	16 ( 13.0 %)	123 ( 100.0 %)

問11-2 問11-1で「1. 新增設を行う計画がある、行いたいと思っている」と回答した方に伺います。計画の内容について、差し支えの無い範囲でご記入ください。

※結果については、15頁にまとめた。

問12 償却資産の取得について伺います。今後3年間に、償却資産を取得する計画はありますか。計画がある場合は、取得時期と金額をご記入ください。

※結果については、16頁にまとめた。

## VIII 自由意見欄

本市の商工業施策に関してご意見・ご要望があれば記入してください。

※結果については、17頁にまとめた。